

ぞうしゅうぞうえきたつせい

【増収増益達成】

アコムの二〇〇六年三月期中間連結決算における成果。前年同期比で営業収益、経常利益ともに増加したことを意味する

www.acom.co.jp/ir/

■2006年3月期 中間連結決算のご報告

アコムIR辞典 — そ

おかげさまで、増収増益を実現。二〇〇六年三月期中間連結決算は、「質」と「量」双方による企業価値の拡大という私たちの成長戦略の芽が始め、営業収益が前年同期比二・六％増の二千二百二十一億円、経常利益が同二・七％増の七百九十九億円となり、三年半ぶりに増収増益を実現いたしました。

ローン事業の強化を継続。

アコム単体のローン事業につきましては、成長への転換をめざし、

与信精度の高度化、カウンセラー活動の推進、チャネルの拡大など、徹底して足下を固める戦略を継続しています。その結果、ローン残高は前期末よりも僅かながら増加し、貸倒費用は前年同期比で引き続き減少しております。また、今年連結子会社となったDCキャッシュワンのローン残高は、前年同期比三七・八％増となりました。下期以降はDCキャッシュワンとの連携をさらに強化し、アコムグループとして、2ブランドで無

 アコム

担保ローン残高の伸長を図っていきます。なお、好調に成長を続けるタイ王国の子会社EASYBUY（イージーバイ）をあわせた連結ベースでのローン残高は、今期末で一兆七千億円を超える規模となる見込みです。

発展を続ける金融周辺事業。

アコムではさまざまな金融周辺事業を展開し、新たな金融市場での収益拡大を図ってまいりました。この中間決算におきましても、サービス事業の営業収益が前

年同期比で三二・〇％増、アコム単体の保証事業が同三〇・一％増となるなど、大きな成果をあげています。今後もさらに積極的に各事業の拡大をめざします。

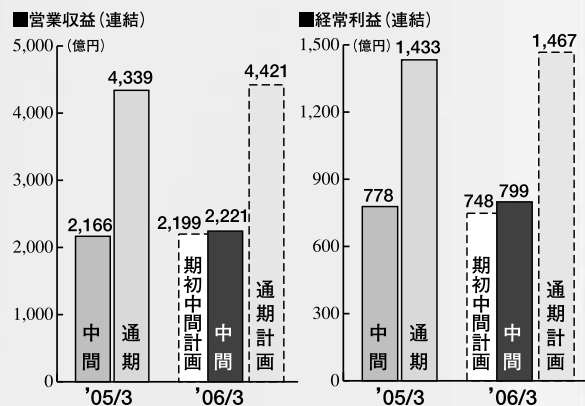
MUFGとの提携。

金融周辺事業を早く大きく実らせるのがMTFGとの提携です。MTFGがMUFGへ変わる過程において、一部の提携スキーム開始が遅れておりますが、現在、提携範囲を拡大させる方向で見直しを進めており、さらなる発展

www.acom.co.jp/ir/

■2006年3月期 中間連結決算のご報告

アコムIR辞典 — そ



の可能性が高まっています。
株主の皆さまへ。

今後もアコムは、成長性・収益性・安定性において、バランスのとれた成長戦略を推進し、企業価値の極大化を図ってまいります。なお配当は、中間期は一株につき七十円、期末配当金も同額とし、年間では前期比四十円増の百四十円といたします。

アコムは、いま、
もっと大きな可能性へ。

 アコム